

入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について

入曽地区の中学校の統廃合については、平成23年10月に開催された入曽地区中学校統廃合検討協議会第5回会議において、**人間中学校**を統廃合の対象校とすることで合意が得られたことを踏まえ、平成24年度からは、新たに学区部会を設け、統廃合に伴う学区の見直しに向けた検討協議を進めてきました。

【平成24年度開催の検討協議会】

H24. 6. 20	学区部会第1回会議
H24. 7. 25	学区部会第2回会議
H24. 9. 25	学区部会第3回会議
H24. 11. 21	学区部会第4回会議
H24. 12. 19	検討協議会第8回会議
H25. 2. 5	学区部会第5回会議
H25. 3. 14	検討協議会第9回会議

このたび、学区部会での検討結果を踏まえて、先般開催された検討協議会第9回会議において、統廃合に伴う学区の見直し及び統廃合の時期についての合意が得られましたので、報告します。

1 統廃合に伴う学区の見直し

学区部会では、統廃合に伴う学区の見直し案として四つの案を提示し、それらの案を基に検討を進めてきました。学区部会では、学区を決める際の判断材料として、通学の距離や時間及び安全を重要な要素と位置付け、想定される通学路を委員自ら実際に歩き、現状を把握したうえで改めて意見が交わされました。その結果、現状としては、山王中学校に比べ、人間野中学校に向かう通学路の方が、全般的に距離が短く、安全面も確保されているとの見方が大勢を占めたため、その後の協議は、人間野中学校への統合をベースとする案に絞った形で議論が進められました。最終的には、学区部会及び検討協議会において、統合後の学区については、人間野中学校と山王中学校の両校の適正規模を確保することも考慮して、次のとおり合意されました。

人間中学校区内を通る線路を境に、西側の区域を人間野中学校に、東側の区域を山王中学校に分散統合するとともに、あわせて、人間野中学校区のうち、御狩場小学校の通学区域の部分を山王中学校区に編入する。

ただし、山王中学校区となる線路東側の区域については、人間野中学校への通学も可能とする。

また、御狩場小学校の通学区域部分に居住して人間野中学校に通学している生徒で、統廃合時に中学2年と中学3年になる生徒は、山王中学校に移らずに、人間野中学校に在籍したまま卒業することも可能とする。

2 統廃合の時期

統廃合の対象校である入間中学校については、耐震補強が未実施であるため、早期に統廃合する必要がありますが、統廃合までには、詳細な事項について更に検討し、その後、市議会の議決を得て、統廃合を正式に決定し、更に一定の準備期間を置いて、統廃合することになります。

以上を踏まえて、統廃合の時期については、平成27年4月を目途とすることが合意されました。

《参考》 統廃合に伴う学校の移動

H25年4月	H26年4月	H27年4月
南小5年生	南小6年生	入間野中または山王中の1年生
南小6年生	入間中1年生	入間野中または山王中の2年生
入間中1年生	入間中2年生	入間野中または山王中の3年生